

今月の担当

好きなおかしは？

はたの ひろみ ★プリン
にしむら あゆみ ★だいふく



はぎわら がく ★エクレア



日本の入れ歯の歴史

入れ歯がどんな材料で作られているかみんなは知っていますか？実はこの入れ歯、とっても昔から使われていたんです。400年前の江戸時代から始まり、現在まで材料も色も変化していきました。今回はその一部を紹介します。



約400年前
©歯の博物館

木を削って作った入れ歯。



約150年前
©歯の博物館

ゴムと陶材で作った入れ歯。今の入れ歯に似てきました。



現在

プラスチックで作った入れ歯。昔のものより綺麗ですね。

こども歯科新聞

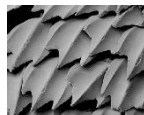
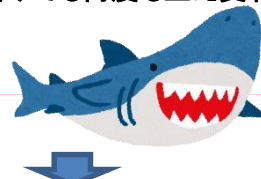
日本歯科大学附属病院

Vol.29
2019.5.20



歯の豆知識

サメの歯は人間と違い何度も生え変わるって知っていますか？サメの鱗は、歯と同じエナメル質や象牙質からできています。そして、この鱗が歯になったといわれているのです。サメの歯は、もともと鱗だったため、抜けても何度も生え変わることが出来るのです！



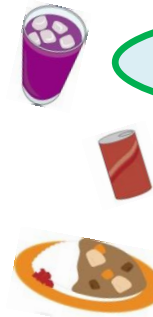
楯鱗



サメの歯

(C) Sue Lindsay @ Australian Museum

あれ！歯が茶色い！
むし歯かな??



みがかくと、
ましろくなり



これは、着色(ステイン)といいます。食事(カレーなど)や飲み物(お茶、紅茶、コーラ、野菜ジュース、コーヒー)などから出る色素が、歯についたものです。お茶碗やコップにも茶渋がつくことがありますよね。

着色はむし歯とは関係はありませんが、気になるのであれば一度、歯医者さんにみてもらいましょう。磨いて白くしてもらうこともできます。

日本歯科大学附属病院HP
「nduhosp」大文字でも可。
または
「日本歯科病院」
で検索！

編集
波多野 宏美・西村 歩
萩原 岳

日本歯科大学附属病院 小児歯科
千代田区富士見2-3-16

令和元年5月発行